

H27・6月20日(土)

「祝国宝」のぼり作製

城お膝元・城西地区有志

松江



松江城国宝化を祝うのぼりを披露する「城西お城を愛する会」のメンバー

松江城（松江市殿町）のお膝元になる松江市城西地区の住民有志でつくる「城西お城を愛する会」はこのほど、松江城天守

の国宝指定答申を記念したのぼりを200本作製した。地区のイベントなどで飾り、お祝いムードを盛り上げる。

機運盛り上げへ販売も

7月8日にはのぼりの披露を兼ねて「国宝松江城を祝う会」を同公民館で開く。城西幼稚園の園児がみこしを担いで祝う。

会は2010年2月に結成し、松江城に関する講演会開催など国宝化の機運を高める活動を続けてきた。
のぼりは長さ180センチ、幅45センチで、白と桃色の2色を作った。「祝国宝松江城」の文字と天守の写真を印刷している。200本のうち150本を住民に1本2千円で販売。住民からの注文が多く、追加発注するほどの人気だ。
事務局を担う城西公民館（松江市堂形町）の森泰館長（72）は「各家庭の庭先にも飾り、松江城に思いをはせてもらいたい」と話した。